

## すみれ通信 73号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています



〒 251-0032  
藤沢市片瀬339-1  
藤沢市医師会館  
在宅医療支援センター  
☎ 0466-41-9980  
Fax 0466-41-9981  
メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



## 新型コロナウイルスワクチン

### 新型コロナウイルスワクチンの副反応について (ファイザー社製)



筋肉注射は、接種後すぐに成分が体内に取り込まれるので反応はすぐに出ます。接種後の健康観察時間が15分、30分と設定されているのはそのためです。

何らかの副反応（接種部位の痛み 84%・頭痛 55%・倦怠感 63%・筋肉痛 38%・発熱 15%）が出る人があり、2回目では高い頻度で現れています。しかし、打った翌々日にはほとんどが回復しています。

副反応は高齢者よりも若い人に強く出る傾向があります。特に2回目の接種後は注意が必要なので、大事な仕事を入れたい、仕事を休めそうなら休むという事前の配慮も必要かもしれません。可能なら打った次の日はあらかじめ仕事の休みを取るか、休日の前日に接種したほうが良いのでは、とされています。

アナフィラキシーの怖さと、95%の重症化を防ぐワクチンの有効性を天秤にかけると、接種のメリットの方が大きいといえます。

ワクチン接種に不安を持っている方も少なからずいますが、集団免疫獲得のためにもワクチン接種は必要だと思えます。



## 最近の話題から

新型コロナワクチンの問診票に消せるペンの代表格「フリクション」を使ったことで、文書保存上の問題が生じているようです。フリクションペンは、ペン後部に付いた専用ラバーでこすると、摩擦熱でインクの色が無色透明になります。メーカーのパイロットでは、温度変化で無色になるため、証明書類などには使わないよう呼び掛けています。



## くげぬま緩和ケア内科

小川賢一 医師

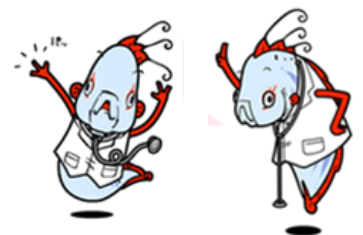
鶴沼の地にご縁を頂いて開業し、あっという間に1年が経ちました。

これまで院長である私とがん看護専門看護師の2人、24時間体制で奮闘しておりましたが、つい最近、若手の非常勤医師1

名を迎え、さらに充実した診療体制に向けて努めております。

急性期総合病院で緩和ケア内科部長を担っていた頃、残された日々を家で過ごしたくても、諦める方が多い現状を目の当たりにしました。“自宅で療養される方々が安心して過ごせる医療”に貢献したいという使命感を持ち、痛み、呼吸困難感、嘔吐などの辛さが出来るだけ和らぎ、人それぞれの寿命を全うできるように、日々工夫を重ねています。

最近ががんの方のみならず、認知症、心不全、神経難病の方の依頼も増えてきました。これらの疾患の方と「緩和ケア」は関係するの？と不思議に思われるかもしれませんが、年齢を重ねるにつれて何かしら辛い症状は生じるもの。がん以外の疾患の方にも「緩和ケア」の知識や技術が役立つことを実感しています。また、開業してから感じるのは、訪問看護師、ケアマネージャー、薬剤師、ヘルパー、理学療法士などコメディカルの方々との連携の大切さです。様々な職種の方々との“チーム医療”の提供が、療養される方とご家族の生活の質に大きく影響します。今後も皆さまと、より密に連携し地域医療に貢献できるように努めたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



りゅうぐうのつかい

